

雲の上のまち



広報

# ゆすばら



## 原宿表参道元氣祭 スーパーよさこい2013

原宿口ステージでの演舞 (8月25日)

(記事は10月号に掲載)

**2013**  
 <平成25年>  
 No.663

**9** 月号

- 世帯数/1,774 (8月初)  
1,778 (9月初)
- 人口/3,744 (8月初)  
3,748 (9月初)
- 出生… 5 ○死亡… 4
- 転入… 13 ○転出等… 10



# 県下一斉避難訓練

9月1日は、県下一斉の防災訓練の日でした。台風15号が九州四国に向けて接近しており、県下の他の市町村では早々と中止や延期を決めるなど、県下一斉にはなりませんでしたが、8月31日の午前中には台風も温帯低気圧となり、大きな影響がないと判断されたため、予定どおり訓練を実施いたしました。

南海トラフ巨大地震に関する被害予想は、最悪の場合、県下で四万二千人が死亡し、十五万三千棟が全壊する。梶原町においては、四十人が死亡し五百六十棟が全壊するという、大変厳しい想定となっています。こうした想定の中にあつて、一人も死傷することなく、元気に生き抜いていくため、普段からの防災意識を高く持ち、訓練にも積極的な参加をして、減災につな

げていく必要があります。

地震が来て一番大切なことは、自分自身が怪我をしないこと。そして火災が起らないように火元の点検をすること。家族は大丈夫か確認し、家族を助け、一緒に安全な場所に避難をすることです。この一連の行動は、いつも訓練の中で自然な行動として身につけておきたいものです。今年の訓練もそうした行動を確認するものとして、自主防災組織が住民の安否確認とその確認情報を町へ伝達する訓練を行いました。

訓練は、7時30分にJ・A・L・E・R・Tによる訓練の地震速報により地震発生を知らせることに始まりました。これは、地震発生時の緊急放送としては、より実際に近いからです。そして、それぞれ避難が行われ、安否の確認が行われた後、町への安否情報の報告が行われました。



梶原町防災訓練を実施

報告完了の後それぞれの自主防では、A・E・Dの使用訓練や保存食の炊き出し訓練等、災害時の対応につながる訓練を行いました。



AEDの使用訓練の様子 (四万川交流館)

した。町の方では地震発生後の初動体制をいかに迅速に行うか、その体制づくりを主体に訓練を行い、外からの情報を的確に受け伝える訓練と、発災後には素早く役場に駆けつけ、避難の放送や建物のチェック、災害対策本部の立ち上げ、寄せられる情報に基づいて救護所の立ち上げ、被災現場への移動カメラによる情報収集、水の浄化器による給

水訓練、そして、救援物資の配送訓練を行いました。まだまだ、寄せられる情報に混乱したり、指揮系統が不十分であったり反省するところも多い訓練でしたが、毎年訓練を重ねることで確実に前進したいと思います。

梶原町総務課危機管理係



保存食の試食

# 第18回

# 平和の礎に 感謝する集い



今年、第18回を迎えた「平和の礎に感謝する集い」が終戦記念日である8月15日、地域活力センター「ゆすはら・夢・未来館」で執り行われました。

当日は、遺族の方々をはじめ、高知県知事代理として須崎福祉保健所長、議会関係者や町内各種団体など、多数の参加をいただき過去の大戦で犠牲となられました方々に心より追悼の誠を捧げ、出席者全員で戦没者のご冥福と恒久の平和を祈願いたしました。

式辞の中で矢野町長は、「世界各国依然としてテロや地域紛争が後を断たず、多くの尊い命が犠牲になっており、世界平和の道のりは遠いことを痛感せざるを得ない。また、米軍基地問題、尖閣諸島などの国家間を取り巻く情勢も一段と不安定さを増しております。国内におきましても児童虐待やいじめによる子どもたちの自殺など、悲しい出来事が絶えることなく、心をいためる報道ばかりで、家族を思い、

地域を思う「人と人の絆」、共に助け合い支え合う日本人の心がいつしか薄れてきたのではないかと危惧するところであります。そうした中で、水泳や陸上の世界選手権大会では世界の若者が全力で競い合い結果はどうであれ抱き合いお互いを認め合う絆を深めている姿こそ今求められているところであります。本町にはそうした人と人の絆を大切にす文化が今でも残っており、その絆を磨いていくことが最も必要であるとの認識をもち、本町の総合振興計画の大きな柱の一つとして「人の尊厳が守られ絆を大切にす社会」づくりに向かって、町民みんなで取り組みを始めており、一人ひとりが尊重され、心豊かに暮らせる平和な社会の実現を目指し、力強く歩んでいく」と結び恒久平和を誓いました。

そして、高橋議会議長、高知県遺族会会長（代読）が「追悼のことば」を述べた後、梶原中学校3年生の川上雛乃さんが、

「平和学習や曾祖母から聞いた話から戦争の恐ろしき、残酷さを感じたことはもちろんですがその時代に生きていた人々の我慢強さや心の強さも伝わってきました。私たちの生活は、昔の人たちの犠牲の上に成り立っているのだということを忘れてはならず、改めて感謝の気持ちを

表したいと思えます。それと同時に戦争という過ちを二度と繰り返さないこと、これも私たちに課せられた大きな使命だということも心に刻むべきだと思いました。

これからの世界を平和にするために私たちができることは、今まで学習したことや戦争体験者に聞いた話を一人でも多くの人に教え、もう二度と戦争をすることはいけないことを伝えていくことと、自分自身の家族を大切にすのと同じように周りの人も大切にする気持ちを持ち行動

に移していくことです。意見や、価値観の違いで戦争という間違った方向に進むことがもう二度とないよう願っています。そしてテレビから流れるニュースがすべて明るなものとなる世界を作りたいです。世界中の人々が心から「平和なこの世界が大好き」と言えるようになるといいなあと、私は心から思います。」と「平和を願って」と題した作文を朗読し、参加者全員で恒久なる平和を願い祭壇に献花を捧げました。



# 高陵消防連合演習



8月18日(日)午前9時から酷暑の中、中土佐町久礼(操法演習場)において、高陵消防連合演習(須崎市、中土佐町、津野町、梶原町)が、消防団員・消防関係者約400人の参加により行われました。

会長訓示(鍋島雅俊津野消防団長)の後、高陵消防連合会優良団員表彰(功労章)が須崎消防団員4名、梶原消防団員10名、中土佐消防団員27名、津野消防団員9名の合計50名に贈られました。

続いて来賓祝辞、来賓紹介の後、教練、小型ポンプ操法、ポンプ車操法の三競技について各消防団から披露されました。

この高陵消防連合演習に出場する消防団は各地区において予選を行い、優勝した分団が出場しており、各地区共に甲乙つけがたい競技内容で、特に小型ポンプ操法、ポンプ車操法は10月13日に高知県消防学校で開催される高知県操法大会への出場権が懸っており、各団共にきびき

びとした動きでホース延長やポンプ操作を正確に行い、気合の入った演習でした。

梶原消防団から総勢105名が参加し、教練の部に第2分団、小型ポンプ操法の部へ第5分団、ポンプ車操法の部へ第1分団が出場しました。

また、今年の秋に東京で開催される全国女性消防操法大会に中土佐町女性消防団が出場することになっており、消防関係者の見守る中、中土佐女性消防団の軽可搬ポンプ操法の模範演技が披露され、各団員共きびきびとした動作で筒先から6mと8m先の標的の2個のビーチボールを落とし、大きな拍手と激励の言葉が送られました。

競技結果は次の通りです

## 教練の部

- 優勝 梶原(第2分団・四万川)
- 準優勝 津野
- 第三位 中土佐

## 小型ポンプ操法の部

- 優勝 梶原(第5分団・越知面)
- 準優勝 津野
- 第三位 中土佐

## ポンプ車操法

- 優勝 須崎
- 準優勝 津野
- 第三位 梶原(第1分団・梶原)

## 高陵消防連合会長表彰功労章

(勤続五年以上)

- 第1分団 班長 中越 寿和
- 第1分団 班長 川村 幸司
- 第1分団 班長 那須 孝幸
- 第1分団 団員 中越 貞幸
- 第2分団 団員 中越 浩一
- 第2分団 班長 森山陽二郎
- 第3分団 団員 西添 和彦
- 第4分団 班長 玉川 輝満
- 第5分団 団員 吉村 博臣
- 第5分団 団員 森田 俊也

小型ポンプ操法の部で優勝した梶原消防団第5分団は高知県消防学校で行われる高知県操法大会に出場します。町民の皆様のご声援をよろしくお願い致します。



## お夏のミニコンサート

8月27日(火)総合庁舎一階アトリウムでコーラス山びこによる「第6回お昼のミニコンサート」が開催され、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」をはじめ、元気が出る歌声を披露していただきました。

代表の久岡智子さんからは、「音楽の楽しさを一人でも多くの方に伝えたいとの思いで歌い続けてきました。当日は、町内外からお越しいただいた沢山の方々に日頃の成果を披露することが出来ました。『歌はいいね。心が軽くなったよ。』『胸が熱くなり涙があふれました。』など嬉しい感想をいただき音楽の力を実感したひとときでした。」との感想も。



# 第46回 高原まつり

第46回梶原町高原まつりが行われました。

ここ数年雨に悩まされてきました。今年も前日までと同じく大変な猛暑と晴れが続くかと思いきや、14日は、お昼頃から怪しげな雲がすぐそこまで迫り、なぜ今日に限つてと思うほどのゲリラ豪雨。町長旗争奪ソフボール大会は、決勝戦一回の裏両チーム無得点で一旦中断となりました。その後、雨は小康状態になりましたが、雷がゴロゴロ鳴りやまない状態で試合再開となりました。中断の後遺症をもろともしない好ゲームの



町長始球式

なか、「のぶりんず」チームがみごと町長旗を手に入れました。

雨上がりの町中は、午後六時から、国道440号線、信号機の所から役場入口の間は歩行者専用になり、いよいよ夜の開催です。

「いごっこそう太鼓」のみなさんの勇壮なるバチ捌きを合図に、ジャグリングパフォーマンスやベリータンダンスが披露されました。チームゆすはらのよさこい踊りも披露され、元氣一杯華やかに、おしゃれに今年の踊りを披露して頂きました。すっかり暗くなってきた会場では、ベリータンダンスの軽やかな音楽が流れ、会場全体が一体となって楽しく和やかに夜は更けていきました。最後は「いごっこそう太鼓」のみなさんが演奏でパシッと決めて頂きました。

15日は、朝から晴れたり曇ったり、そんな天気を吹き飛ばすかのように会場では着々と夜に向けて準備を進め、役場駐車場はすっきりお祭り広場へと姿を変えていきます。

夕方からは、鳴子踊りパレードがスタートし、梶原幼稚園チームを先頭に梶原学園・JA津野山・梶原町役場・チーム梶原と、軽快なリズムに合わせて鳴子踊りを披露してもらいました。



学園によるよさこい踊り

各チームの地方車は、各チームが工夫を凝らし、楽しい愉快な演出満載でした。また、今年のは、西宮市からはゆるキャラの「みやたん」と「福耳福ちゃん」が、初参戦し、愛嬌を振りまいてもらいました。今年もアイデア満載盛り上げていただきありがとうございました。

午後7時からはステージイベントが始まりました。今年、

藤崎アウンサーの軽妙なトークで始まり、みやたん・福耳福ちゃんも、お祝いするなか、第46回高原まつりのポスター採用者梶原学園まんがイラストクラブの皆さんに表彰状と副賞の贈呈が行われました。引き続き、矢野富夫実行委員長が会場の皆様にご挨拶を述べ、お隣・久万高原町の町長・高野宗城様からご祝辞を頂戴致しました。

セレモニーの次は、「OTOOGI」のお2人のショーです。今年は何度も梶原へ足を運んでいただき坂本龍馬さんになんだ歌を美しいハーモニーで披露してもらいました。次はお笑いです。まずは、三拍子のお2人、そしてエルシヤラカーニのお2人。エルシヤラカーニのお一人は高知県出身とのことでしたが、2組ともお笑いの中に梶原の話題を盛り込んで会場一杯笑いの渦となっていました。

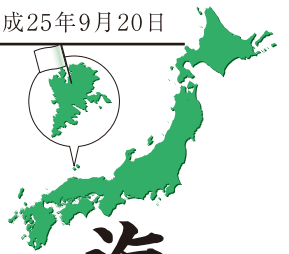
ステージイベントのラストを飾るのは「川野夏美歌謡ショー」です。川野さんが登場し、会場では四方の山々にこだまするばかりの拍手、司会の方との軽妙なおしゃべりや、川野さんの思いやりや親しみを感じるお話でさらに会場は笑い声で溢れ、次々披露されるすばらしい歌声

に聞き惚れるひとときとなりました。矢野町長からの花束とゆすの木の耳かきの贈呈とステージも大詰めを迎える中、川野さんは、ステージから客席へと歩いて、会場の皆さんと一体となったショーとなりました。ペンライトが揺れる中、最後の曲が歌い上げられ、興奮冷めやらぬなかアンコールの声と拍手が響き、川野さん、再登場。会場と川野さん絶好調の中、アンコール曲は「祭り」まさにお祭りを締めくくる天晴れな選曲で最高の盛り上がりの中、ステージは終了しました。

ファイナレは花火大会。藤崎アウンサーと川野さんのカウントダウンで、夜空に大輪の花が打ち上がりました。

今年も、町組、川西路、飯母の皆様、建設協会の皆様、警備担当の消防団の皆様、各種団体の方々大勢の皆様にごえられて梶原誕生千百年目の真夏の祭典は無事終了いたしました。ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

高原まつり実行委員会事務局  
梶原町商工会



# あまちょう 海士町視察研修

## 若者定住対策審議会報告

6月29日から30日にかけて、若者定住対策審議会委員が、島根県海士町を視察しました。

海士町は、本土からフェリー

で2時間ほどかかる離島でありながらも、都市部の若者との交流を通じた人づくりや島前高校の魅力化プロジェクト、離島発の六次産業化等の事業を展開し、平成16年から現在まで、300人以上のイターン者が移住している元気な町として全国的に注目を集めています。

この度の視察では、本町における定住対策のあり方についての調査研究をすることを目的とし、直接、I・Uターンされた方に移住した動機や海士町での生活についてお話を伺いました。

梶原町から海士町へは、バスで約7時間かけて鳥取県境港まで移動し、そこから高速フェリーに乗り換えます。29日の早朝4時に梶原を出発し、海士町へは午後2時に到着しました。

到着後すぐに、海士町の取り組みについて海士町観光協会の方に説明をいただき、島内を

案内していただきました。この時ガイド役をしていたいただいた方は、海外から移住された方でした。

島は周囲89キロメートルで、近隣の離島のなかでも唯一、豊富な地下水があり、漁業に加え、稲作も営まれております。

産業は主に、定置網による漁業やイカ、サザエ等の加工販売、近年は畜産部門で肥育にも力をいれており、イターン者の多くが就職しています。農業は基本的に水稲であり、島内での消費がメインとなっております。

また、観光協会や島唯一の島前高校の魅力化を行う隠岐國学習センター等へも、多くのイターン者が就職していました。

翌30日には、海士町役場交流促進課長に、海士町の取り組みや考え方についてお話いただいた後、Iターンされた3名の方々の意見交換会を行い、移住したきっかけや、実際の島での生活についてお話を伺いました。

平成14年に、日本全国が市町

村合併についての議論がされている中で、海士町も近隣の離島の町との合併についての協議がされました。その背景には、過疎高齢化に加えて町の財政が破綻寸前の状況にあったことなど、切迫した状況がありました。住民に対してこの町の危機についての説明を行った結果、単独自立でいこうという機運が島全体で起こり、住民が主体的に町の運営に関わりを持つようになったといえます。

そうした状況の中で、まず取り組んだことが移住者を増やすことでした。そのために、先ずは公営住宅の整備をおこなったそうです。島への移住者のほとんどがこうした公営住宅で生活しており、空き家の利用はほとんどない状況です。当初は、移住者向けの説明会や島での生活を体験するイベントを開催したそうですが、効果はなく、定住に繋がらなかったといえます。

試行錯誤する中で、都市部の若者を対象にした島での体験イベントから関係が出来ていた学生の口コミによって話が広がり、その方々が島に移住するようになり、現在では、役場のホームページ等で求人告知をする

と、すぐに多くの若者から応募

があるとのことでした。

島の方からいただいた名刺には、「ないものはない」と記されています。離島であることや人口が少ないから出来ることがあり、役場であるからこうだ、ではなく、一般的なルールに縛られない考え方と行動する柔軟さを感じました。また、このような役場の対応が、移住者から見た時に町全体の魅力の一つになっていきます。

Iターン者の多くが、友人知人から海士町のことを知り、そして、その方々から「一度は行っただほうがよい」と勧められたといえます。現在海士町が行う、産業振興や高校の魅力化についても、大胆に移住してきた若者



視察の様子

を起用しています。移住者の若者にとつて、この島で自分のもっているものを活かし、町づくりに参画できることが、さらに島の魅力となっているように感じました。海士町では「よそのもの、わかもの」が町づくりをおこなっているのです。

また、「将来は自身の出身地に帰って、島で学んだことを活かしたいと考えている」という意見も聞かれました。こうした意見は、定住という定義を考えるなかで、とても重要なキーワードであると思います。一生その地域で暮らしていくということも重要ですが、一定の期間を居住することで、町にとつても、移住する方、双方が活かしあえる関係を築くことが、移住しやすい町づくりの第一歩であると思います。

たくさん移住者がいることで、そうした思いを共有する方同士の出会いがあり、さらにその仲間の仲間と出会うことができる。まさに交流を通じた人づくりの実践例であると思います。さらには、移住された方同士が島で出会って結婚する方も多いといえます。

若者の定住には、さまざまな環境の整備が必要であるとの認識がありました。しかし、その根底には、若者がその町で暮らし、その暮らしの中で町づくりに参画できていること、あるいは参画できる環境があることが重要ではないかと思えます。つまり、定住した若者の居場所が地域社会の中にあることが大切ではないでしょうか。

この度の視察の中で、特に印象的だったのは、話をしていたI・Uターナーの皆さんの目の輝きです。海士町での生活や、海士町との出会いについて話をしながら、それぞれの皆さんが、海士町に熱い思いをもっていることがひしひしと伝わってきました。

過疎高齢化、離島という条件の中にありながらも、独自の文化を守りながら地域の振興に取り組む海士町の皆さんに勇気と元気をいただきました。

そして、梶原町でもまだまだやれることがあり、私たちにもやれることがあると思いを新たにいたしました。

最後になりましたが、このような学習の機会をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

**若者定住対策審議会とは**

若者定住対策審議会は、町が行う若者定住対策について、意見や提言を行う審議会です。今年4月に、第八期若者定住対策審議会が発足し、現在委員一丸となつてがんばっています。また、機会をいただいで、地域の皆様のご意見を伺いたいと思しますので、よろしくお願ひします。

- 会長 千光寺 俊和
- 副会長 島津 ふみ
- 委員 市川 好伸
- オリバー・ピリンズリー
- 梅井 理恵
- 田尾 欣三
- 二神 貴登
- 松本 秀一朗
- 山本 萌
- 中川 善典
- (高知工科大学准教授)



海士町

**任期満了に伴う梶原町長選挙**

平成25年12月20日任期満了に伴う、梶原町長選挙の日程を下記のとおり決定しました。



**告示日** 平成25年 **11月26日(火)**      **投票日** 平成25年 **12月1日(日)**

梶原町選挙管理委員会

**平成25年度 高知大学公開講座 「自然と文化」 ご案内**

●主催／高知大学国際・地域連携センター・地域連携・再生部門      ●共催／梶原町教育委員会

高知大学公開講座を9月25日(水)から開講しました。第2回以降の日程と内容をご案内します。ふるってご参加ください。

- 日 時 【第2回】10月16日(水) 午後7:00～8:00      【第3回】11月6日(水) 午後7:00～8:30
- 【第4回】11月27日(水) 午後7:00～8:30      【第5回】12月3日(火) 午後7:00～8:45

○場 所 梶原町地域活力センター

○講座タイトルと講師

- 【第2回】 「地域再生・活性化」と協働一域学連携による地域協働を中心にー  
総合科学系 地域協働教育学部門 部門長・教授 上田 健作
- 【第3回】 肥満とメタボリックシンドローム  
医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学 准教授 西山 充
- 【第4回】 “オレ流”体験的読書論 ～ つながる ひろがる 読書会 ～  
前高知大学理事(教育担当) 名誉教授 松永 健二
- 【第5回】 自然災害に備える  
総合研究センター防災部門 准教授 原 忠

○募集人員 1回あたり30人 先着順

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

○お申し込み 梶原町教育委員会事務局(TEL0889-65-1350)へ各講座の一週間前までに事前にお申込ください。

○受講料 無 料

# 今すぐはじめる身近な対策

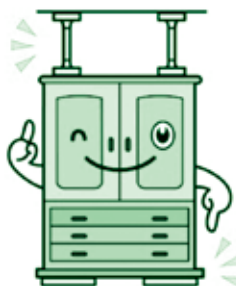
## ～家具転倒防止～

東日本大震災から二年半が経ちました。今後、いつ大きな地震が起こるか分かりません。災害による被害をできるだけ小さくするため、できることから備えていきましょう。

### 「まずは家具・家電の固定から」

ポール式の器具は家具やタンスに傷をつけずに簡単に取り付けることができます。

大きな揺れでは、固定していないテレビが飛んだり、冷蔵庫が倒れたりします。粘着マットや固定ベルト等でしっかり固定しましょう。



総務課危機管理係

# 「住宅・土地統計調査」

にご協力ください。



10月1日を基準日として「平成25年住宅・土地統計調査」が実施されます。

この調査は、住生活に関する最も基本的で重要な調査で、全国約350万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

梶原町内では、永野・川西路（一部）・下西の川・宮野々・佐渡・上下久保谷地区を対象に調査を行います。

9月下旬には、調査対象となった世帯へ統計調査員が伺い「調査票」を配布します。

で、記入いただきますようご協力をお願いします。

なお、インターネットによる回答も可能です。

※調査員は「調査員証」を携帯しています。

【お問合わせ】  
企画財政課企画・定住対策係

## 10月11日(金)～10月20日(日) 全国地域安全運動が行われます

○地域社会の安全が確保され、安心して暮らせることは、県民すべての共通の願いです。安全で安心なまちづくりを目指して、今年も10日間、全国一斉に「全国地域安全運動」が展開されます。今年も「みんなで作ろう安心の町」をメインスローガンとして、

- ①住宅を対象とした侵入犯罪の防止
- ②子供と女性の犯罪被害防止
- ③振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺予防対策
- ④万引き、自転車盗の防止
- ⑤少年の健全育成

を重点目標として、県下各地で各種活動が展開されることになっています。

○犯罪や事故などから身を守る上で、まず大切なことは、地域の一人ひとりが「自分たちの安全は自分たちで守る地域の安全は地域で守る。」という「自主防犯意識」を持つことです。

## 世界も、自分も、変えるシゴト。

### 平成25年度 JICAボランティア募集!!



- ①青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア
- ②シニア海外ボランティア

日系社会シニア・ボランティア  
あなたの技術・経験を生かしてみませんか？開発途上国で、現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。

●時 シネマ & 談話 & 説明会 9月28日(土) 13時30分～

●所 松山市男女共同参画推進センター(コムズ) 5階大会議室  
※「モンゴル野球青春記」無料上映！

●対 ①満20～39歳 ②満40～69歳(11月5日現在)  
※日本国籍を持つ人

●申 募集期間／10月1日(火)～11月5日(火)消印有効  
応募書類配付場所／JICA四国、  
県国際交流協会、役場

●問 JICA四国(TEL 087-821-8824)、又は役場

URL <http://www.jica.go.jp/>

## 10月の行事予定

- 10日(木) 小学校陸上記録会
- 12日(土) 環境整備デイ  
第3回龍馬脱藩マラソン大会前夜祭
- 13日(日) 第3回龍馬脱藩マラソン大会
- 16日(水) 人権相談・行政相談・女性検診
- 17日(木) 女性検診
- 18日(金) 女性検診・梶原学園研究発表会

- 20日(日) 梶原町交通安全の日
- 25日(金) 小動物収集
- 26日(土) ねんりんピック  
よさこい高知2013(29日まで)
- 27日(日) ねんりんピック マラソン交流大会
- 29日(火) 東区(三嶋神社)神祭
- 30日(水) 東区(三嶋神社)神祭 ※津野山神楽



# 梶原学園だより 第23号

## 老人クラブとの交流会

8月8日(木)、本年度も梶原学園7年生が老人クラブとの交流会を行いました。この交流会は、登校日に老人クラブの方々に昔の「衣食住」のお話をしていただき、一緒にゲーム等で交流をすることにより、子どもたちに平和の大切さを考えてもらうものとして、毎年実施しています。

交流会では、準備していただいた当時の食べ物に興味を持ち、実際に味わわせていただくことにより、昔の「食」を体験することができ、当時の生活を考えることができました。ゲームでの交流では多くの方々と交流することができ、楽しくそして貴重な時間を過ごすことができました。



した。お世話いただいた老人クラブの皆さんほんとうにありがとうございました。

## 水泳記録会

8月20日(火)、小学校の水泳記録会が雲の上プールで開催されました。1学期の水泳の授業はもちろん、夏休みも練習に励み、その成果を出すべく記録会に臨みました。自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・リレー等、それぞれの持つ自己記録更新にむけて懸命に泳ぎました。残念ながら梶原町の新しい記録更新とはなりませんでしたが、自己記録を更新する子どももたくさんおり、有意義な記録会となりました。



## 夏季チャレンジ塾

中学校の7・9年生を対象に、毎年夏休みを利用して「チャレンジ塾」を開催しています。本年度も、前期が7月22日(月)～24日(水)、後期は8月26日(月)～30日(金)に、それぞれの基礎学力定着のために国語・社会・数学・理科・英語の学習に取り組みました。教科担当の教員だけでなく、複数の教職員が教室に入り、それぞれの苦手なところや不十分なところを中心に学習に励みました。また、高校生や大学生のサポーターの方にもご協力いただき、マンツーマンで教えていただくことができました。ことに深く感謝しています。



## 手作り太陽光発電事業

8月27日(火)から2日間、梶原町の事業として、太陽光パネルの制作を行いました。この事業は、梶原町が推進している太陽光発電のエネルギーの仕組みを学び、実際に太陽電池パネルを制作し、街路灯として設置するものです。子どもたちは説明を受けながら太陽電池パネルを制作する過程で、自然エネルギーの重要性や梶原町の誇れる取り組みに改めて気づくことができたと思います。完成した太陽電池パネルは、さっそく私たちの通学の安全を見守ってくれる街路灯として梶原学園の中学校棟生徒玄関前に設置されました。お世話いただきました関係者の皆様本当にありがとうございました。



# 西区で体験合宿

## ～梶原学園4年生～



8月21日から23日までの間、梶原学園4年生22名が参加し、西区生涯学習館を拠点に体験合宿を行いました。主に野外体験、自主性と協調性の育成や地元との交流を目的に、2泊3日の日程で行いました。家庭や学校を離れての初めての宿泊活動に、不安を抱いた子どももいたと思いますが、野外体験や自炊を楽しみにして参加してくれました。

バスで西区生涯学習館へ移動し、まず開校式を行いました。西区・中越一長区長、合宿にご協力いただく地元の方々から、温かい歓迎の言葉をいただき、子ども達の緊張が解けたようでした。また、合宿期間中は、梶原高校のお兄さん、お姉さんが各班の「リーダー」として、一緒に行動や生活指導をしてくださいました。開校式終了後、班ごとに分かれ、合宿中に使用する風呂、トイレ、寝室等を清掃しました。その後、お昼は西区の地元の方々に作っていただいたご飯を、お腹いっぱいいただきました。初日の午後は、地元の方々が見守る中、学習館前の四万川川での川遊びです。川で



生き活きと遊ぶ姿は、さすが梶原の小学生です。かなつきで鮎を仕留めたのは廣瀬琳(りん)君でした。夕食は西区との交流バーベキューです。自分たちで飯ごう炊さんを使って米を炊きました。マッチ、新聞、薪を使って火を起こします。初めての火起こしに緊張する姿も見られましたが、高校生や地元のかたに見守られながら挑戦しました。夕食には、川遊びで仕留めた鮎も焼いて、自分たちで炊いたご飯と一緒に美味しく頂きました。夕食の後は、班ごとにお風呂に入り、就寝しました。初めての宿泊に不安もあったようですが、「皆が一緒だったから大丈夫」との声も聞かれました。

2日目は朝6時に起床し、合宿中の日課としてラジオ体操と清掃をしました。朝食は自分たちで、花にらの卵とじ、お味噌汁を作りました。朝ごはんの準備、片づけをすることで、「食事の準備は大変なんだね」「自分でもできるんだ」という声が聞かれました。この経験を自宅での普段の家庭生活に活かしてもらいたいです。



午後からは昔遊びです。中越順市さん、氏原光雄さんに水鉄砲、コマ遊び、紙飛行機の作りかたを教わりました。竹をのこぎりで切り、錐(きり)で穴をあけて、水鉄砲作りに挑戦する



合宿最終日にも朝食の自炊に取り組み、鮭の塩焼き、カレーピーマンのじゃこ炒め、

姿も見られました。午後からは、自分で作った水鉄砲を川遊びで使います。2日目の疲れも見られない様子で、元気に水遊びを楽しんでいました。夕食はカレーを作りました。食事の準備も徐々に慣れ、班ごとに協力して取り組みました。自分たちで作ったカレーは大好評で、女子班の鍋は空っぽになっていました。夕食の後には、皆で花火を楽しみました。夏休みの良い思い出になったことでしょう。2日目の夜は、疲れが出たのか静かに就寝しました。



**神楽の太鼓  
とても上手でした!**

おみそ汁を作りました。朝食後は、下元浅子さんにおまじゆう作りを習い、下元さん特製のおんこを子どもたちが手で丸め、ヨモギ入りと米粉と2種類の皮であんこを包んで蒸しました。とても美味しのおまんじゆうに子どもたちは大喜びでした。午後からは、竹の藪の三嶋神社を訪問し、掛橋与四郎宮司から三嶋神社の歴史や神祭、行事の説明を受けました。また、津野山神楽保存会の西村建雄さんの

ご指導で、神楽の太鼓を体験しました。子どもたちは、とても初めてとは思えない軽快な手さばきで太鼓をたたき、伝統のリズムを刻んでいました。閉校式では、子ども達から地元協力者やスタッフへのお礼の言葉をおくり、3日間の充実した合宿が締めくくられました。

2泊3日の合宿の中で、身の周りのことを自分たちでやることに、初めは慣れない様子でしたが、次第に仲間と協力しながら取り組む姿も見られました。改めて家族のありがたさや家事の大変さを感じたのではないのでしょうか。様々な体験を通して人と助け合い、仲間を大切にすることを育つ良い機会となったことでしょう。

子ども達の指導、見守りにご協力いただいた西区の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。大変お世話になりました。

# ゆすはら 和だいのこクラブ



梶原町学校支援地域本部事業（梶原町学校応援団）の地域活動部会では、梶原町内外から講師をお招きして、子ども達が様々な活動をしています。

その中の一つ、「ゆすはら和だいのこクラブ」は、平成23年12月から活動を始めました。旧越知面小学校にあった「ししまる太鼓」で培った和太鼓の活動が、小学校の統合で消えてしまわないうよう、和太鼓をやりたい子ども達を集めて活動をしていきます。現在の参加メンバーは1年生から6年生までの10名です。

毎週土曜日の午後1時半～2時半、旧越知面小学校体育館で練習しています。

今年7～8月にかけて、みどりの家の夕涼み会・四万川区夏祭り・越知面区夏祭りに参加しました。

活動当初から参加している児童がほとんどでしたが、今まで人前で演奏を披露する機会が少なかったためか、いざ本番になると

大変恥ずかしかったそうです。

聞いてくださった皆さん、暖かい拍手をありがとうございました。今後も機会があれば様々な場所で演奏したいと考えています。

さて、ゆすはら和だいのこクラブでは、新しい名前を募集しています。

梶原にちなんだ「〇〇太鼓」という名前のいいアイデアがありましたら、梶原町学校応援団（電話650120 担当笹岡）までご連絡ください。



みどりの家



四万川



越知面

# 梶原高校通信

## 梶原人の伝統的な生活について

今回は、5月のことをお話し  
ます。

まず、5月5日に端午の節句  
があります。こいのぼりを立て  
る習慣は昭和初期の頃からあつ  
たそうです。家の庭に竹の竿を  
立てて、黒と赤の小さな和紙で  
作ったこいのぼりを2つ飾りま  
した。黒色は男の子、赤色は女  
の子を意味していたらしく、黒  
色を上にしていたそうです。し  
かし、立てられていたのは一部  
の家庭だけで、ほとんどこいの  
ぼりを見ることはありませんで  
した。この頃に、こいのぼりの  
歌も歌われるようになったそう  
です。昭和32年頃からはほとん  
どの家庭でこいのぼりが立てら  
れるようになりました。一般的  
には、和紙のこいのぼりで稀に  
布のこいのぼりを立てていると  
ころもありました。

吊るしておいたそうです。竹の  
製品は湿気をとることができ、  
食品を腐らせないようにできて  
いたからです。それに子供たち  
がお餅を全部食べてしまわない  
ように、お餅を少しのけておく  
ためでもありました。お客さん  
が家に来た時には、このお餅を  
お茶菓子として出していたそう  
です。お餅は時間がたって、少  
し固くなりますが、焼いたりし  
ないでそのまま食べました。

端午の節句の後には、麦刈り  
をします。刈り終わった麦は束  
にして稲木にかけて約1ヵ月干  
して置きました。これは、麦を乾  
燥させてこの後に行われる麦焼  
きという作業のためです。稲木  
とは、イネなどの穀物や野菜を  
刈り取った後に束ねて天日に干  
せるように木材や竹などで柱を  
作り、それに横木を何本か掛け  
て作ったものです。その麦の上  
にとじぶたという草とわらで  
作ったものをかぶせていまし  
た。麦は雨にぬれると芽が出て  
しまうため、こうしていたそう  
です。



干した麦は、3日間かけて麦  
のいが焼きます。この作業は  
涼しくなる夕方から始めていま  
した。いがだけを焼かなくては  
いけないので焼き方が難しかつ  
たそうです。いがを焼くと、「灰  
の中に麦が落ちるため、子供た  
ちは灰を混ぜたり水をかけたり  
して、麦を焼かないようにして  
いました。この時の焼きかすは、  
たい肥として使います。灰を  
混ぜ終わったら、灰をさび籠に  
入れ、穂と麦をより分ける作業  
もありました。5月の中旬頃に  
この作業をするため、時期的に  
暑く、つらい仕事だったそうで  
す。伊藤さんは麦焼きでこんな  
俳句を読んでいます。

暮れ待ちて 麦焼くひのこ  
天に散る

麦刈りと同じ時期にきび（と  
うもろこし）の収穫もしていま  
した。お昼にきびをとり、夜は  
その皮を剥ぎます。収穫したき  
びの出来が悪いものを特に「歯  
抜け」と呼んでいました。子供  
たちはこの歯抜けを食べていま  
したが、たくさん食べられるわ  
けではありません。きびも今の  
ように柔らかくて甘いわけでは  
なく、固かったそうです。食べ  
方としては、焼いたり煮きび（き  
びを煮た料理）にしたりしまし

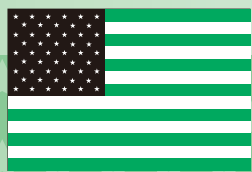
た。出来のいいきびは束にして、  
3ヵ月間稲木に干しました。冬  
に食べられるようにと保存のた  
めだったそうです。この稲木に  
干すために、束にしたきびのこ  
とを「きびいなき」と呼んでい  
たそうです。遊びとしては手  
中にきびの実が何個入っている  
かを当てあう「当てっこ遊び」  
がありました。

5月15日からの田植えをする  
頃に茶摘みをします。茶摘みを  
すると、お茶の汁が爪の中に入  
り、爪が汚れてしまうので、伊  
藤さんは茶摘みが嫌だったそう  
です。摘み終わったお茶の葉は  
煎り、干して置きました。また、  
このころには、田の草取りを4  
月から続けておこなっていました。

子供たちは、平日は学校へ行  
き、土日は家の仕事をしていた  
ので忙しかったそうです。子供  
たちが遊ぶといえば川遊びやう  
なぎとりでした。親の農作業を  
手伝い、妹たちの世話もするの  
で、時間がなく、あまり遊べな  
かったそうです。

インタビュー・文 西森七菜

絵 佐伯志保  
西森早梨



栲原学園ALTだより

# ステファニーのコーナー



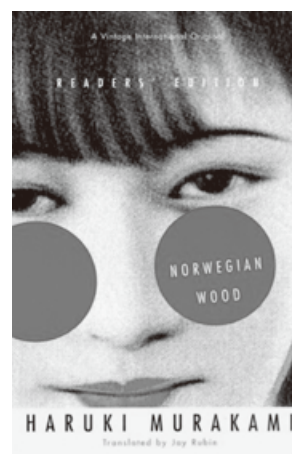
## 村上春樹作品紹介

日本に来てから日本人作家の本を読む機会が増えました。範囲は狭いですが、多くの本屋さんには英語で書かれた本のコーナーがあります。そこで一番に目にとまる作家と言えば、何と言っても「村上春樹」でしょう。この人間国宝級とも言える彼の作品の多くは英語に翻訳されていて「ステファニーの日本図書紹介」の最初を飾るのに最適だと思いました。

### ●ノルウェイの森

これは私が初めて読んだ村上作品で、おもしろくて隅々まで読み尽くしました。様々な場面で多くの友人からも勧められ、間違いなく英語圏の読者に人気の一冊と言えます。

この物語は、トオルと直子の不運な巡り合いに沿って進んでいきます。トオルが遠ざかっている現実の世界に、人との関わり合いや意義を見いだそうと苦しんでいる一方で、直子も恋人だったキズキをなくして以来、陥ってしまった世界から抜け出そうと苦しみます。これは私達の人間関係やそれらがどのように形づくられ、また、どのように影響し合うのかが本当によく描かれています。登場人物の過去が徐々に明らかになることで、その人物像が見え始め、さらに読者自身の新しい側面も見えてきます。時々際どい描写がありますが、この本はとくにお勧めです。



### ●世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド

この本は、これまで読んだ村上作品の中でも私のお気に入りです。物語は、ある男とその心理を二つの側面から描いています。物語は一見独立した2つの世界から始まります。1つは東京を舞台としており、ペースが速く競合的な SF 風の世界です。もう1つは影をなくしたユニコーンと人々が集まる「世界の終り」を舞台とし、孤立した閉鎖的な世界です。どちらも非現実的で、人の心をつかんで離しません。

一見まったく相対しているように見えるこれらの世界は、時の経つのを忘れてしまうくらい早い展開で融合し、物語の終焉へと進みます。登場する無名の主人公の心は機械的で、疲れを知らぬがごとく膨大な量のデータを処理する能力を持っています。人前に姿を見せない科学者が他人を出し抜くコツを会得し、その罠に捕らわれてしまった時、世界の終わりを阻止するため数々の障害を通して競争せざるを得なくなります。この本は、この世の形而上学だけでなく技術の倫理、人権、人の心の本質とは何かまで多くを問いかけます。人を引きつけて止まない作品であることは間違いありません。





梶原町老人クラブ連合会創立 50 周年記念大会 (8 / 1)

# 桃源だより

No.16

よさこいクラブ梶原  
(梶原町老人クラブ連合会)

## 活動の記録

平成25年  
4月～8月

- 3月25日 梶の木植樹祭(梶原千百年物語記念)
- 4月13日 第21回ぼけ封じ観音祭り
- 4月22日 町老連総会・グラウンドゴルフ講習会
- 7月 4日 高幡地区老連総会(津野町)
- 7月25日 いきいきハツラツ交流会(高知市)
- 8月 1日 町老連創立50周年記念大会
- 8月 8日 中学生との交流会

### これからの活動(平成25年9月以降)

#### 9月

ろうれんピック 2013 (黒潮町・26日)

#### 10月

高幡老連体育大会 (中土佐町)  
地域文化伝承館 (高知市・26日～28日)  
※梶原町芸能は26日参加

#### 11月

高幡老連芸能大会 (四万十町)

ご参加お待ちしております!



### 桃源だより 今後の編集方向性について

これまでの桃源だよりは活動経過の報告が中心となっていました。この号からこれからの活動計画について紹介し、会員の参加協力を要請することになりました。

また、一見して分かるように写真を活用した記事作りに努めていきます。

### 栲の木植樹祭

3月25日に「栲原千百年物語」に併せて有志会員を募って植樹祭を行いました。

快晴の中、県道東向口に五本・西の川に三本植えました。



参加メンバー



丁寧に植えました

### ぼけ封じ観音祭り

4月13日に太郎川公園で第21回ぼけ封じ観音祭りを行いました。

今年度は、町老連会員同士の交流も兼ねて祭りの後に昼食会を行い、和気あいあいとした雰囲気でした。



ぼけ封じを祈願



快晴の中での昼食会

### 町老連総会・グラウンドゴルフ講習会

4月22日、ゆすはら・夢・未来館で平成25年度町老連総会が行われました。

■平成24年度事業報告・決算報告及び監査報告・平成25年度事業計画・予算案承認

#### ■平成25年度役員選出

- |     |       |
|-----|-------|
| 会長  | 森山 定幸 |
| 副会長 | 田辺 盛幸 |
| 監事  | 中越 順市 |
| 顧問  | 川上 原弘 |
| 顧問  | 中越 利明 |
| 顧問  | 明神 辰子 |
| 相談役 | 門場 寿男 |

#### ■単老クラブ会長

- |       |       |
|-------|-------|
| 東部孝山会 | 古屋 豊重 |
| 南部孝山会 | 田辺 盛幸 |
| 中央孝山会 | 中越 利明 |
| 北部孝山会 | 明神 義典 |
| 東部千樹会 | 岡田 安恵 |
| 西部千樹会 | 川上 原弘 |
| 上松長寿会 | 中越 岩雄 |
| 明和会   | 片岡 昭夫 |
| 中央衛星会 | 村田 弘栄 |
| 延寿会   | 西村 務  |
| 東衛星会  | 味元 春馬 |

#### ■女性部役員名

- |     |       |
|-----|-------|
| 部長  | 川田 節子 |
| 副部長 | 伊藤 孝江 |
| 書記  | 下井 民江 |

- |     |       |
|-----|-------|
| 健老会 | 大下 喜一 |
| 永和会 | 氏原 義章 |
| 寿楽会 | 松岡 好子 |
| 老栄会 | 久岡 亀一 |

総会後、午後から大越グラウンドで高知県グラウンドゴルフ協会の方々にお越しいただき、講習会を行いました。丁寧な説明と実践練習に皆真剣に取り組んでいました。



# 高幡地区老人クラブ連合会総会

7月4日、津野町で平成25年度高幡地区老人クラブ連合会総会が開催され、多くの高幡地区老人クラブ会員が参加しました。

議事承認後、ねんりんピック広報隊の皆さんとの体操や「認知症を理解しよう」と題して、一陽病院看護部長の永野緑氏に講演していただきました。



# 第2回 元気ハツラツ交流会

7月25日、春野ピアステージで第2回「元気ハツラツ交流会」が開催されました。

今後の交流会は、10月26日から開催される「地域文化伝承館」のリハーサルを兼ねており、芸能部門で参加する各市町村団体の演目が披露されました。町老連からも交通安全チンドン隊が参加し、会場を大いに盛り上げました。ここで、会場で披露された口上の一部を紹介します。

## ～水戸黄門口上～

「トザイ、トザイ！私どもは、雲の上の町梶原町よりやってまいりました梶原町老人クラブ連合会水戸黄門交通安全隊にございます。

日頃ハンドルを預かるドライバーの皆様、交通弱者と言われる子どもたちやお年寄りに、どうかやさしい運転をしてあげてください。

我が町梶原町も開闢以来千百年の時を迎え、本年度『ゆすはら千百年物語』と銘打って、農村歌舞伎をはじめ色々な取り組みをしているところでございます。『今！高齢者のアクセルとブレーキの踏

み違えの事故がとてども多発しています。私たち高齢者が事故を起こさないように気をつけましょう。

そして夫婦（みんな）が仲良く共に白髪が生えるまで元気に笑顔で生きる！」



# 町老連創立五十周年記念大会

8月1日、ゆすはら・夢・未来館にて町老連創立五十周年記念大会を開催し、全体で百十名以上の皆様に出席していただき盛大な記念大会となりました。

―式典―  
【五十周年記念大会表彰】

「役員功労」

戸梶 良信 様 (第六代会長)

吉村 正三 様 (第七代会長)

明神 辰子 様 (第八代会長)

「団体功労」

町老連 女性部 様

単位クラブ 延寿会 様



表彰式



【祝 辞】

副 町 長 吉田 尚人 様  
 町 議 会 議 長 高橋 基文 様  
 カルスト会理事 長 中越 平 様  
 須崎福祉保健所 長 細木 邦郎 様

―特別講演―  
 「人生おもしろうて、やめられん」

講師 西予市美術館

ギャラリーしろかわ

館長 浅野 幸江 氏

―大会宣言―  
 「アトラクション」

「辰本社中チビッ子舞踊」



大好評のチビッ子舞踊

中学生との交流会

八月八日、旧若草保育園で梶原学園  
 七年生との交流会を行いました。

平和学習として、昭和二十年頃の食  
 べ物(きび飯・こんこ等)を実際に試  
 食してもらったり、当時の子どもの生  
 活についてお話ししました。

その後、室内遊具教室としてダーツ  
 やフロッカーなどの使い方やルールを  
 教えながら一緒に競技を行い、学生の  
 皆さんと楽しく交流できました。



終始なごやかに交流



## これからの町老連活動紹介

【集え、競おう! ろうれんピック2013】 9月26日(木) 黒潮町  
 種目…ダーツ、フロッカー、ワナゲ、スポーツ吹き矢、グラウンドゴルフ、シャッフルボード

【第38回高幡地区老人体育大会】 10月下旬ごろ 中土佐町  
 高幡地区4市町(四万十町、中土佐町、津野町、梶原町)で行います。  
 種目…ストローリレー、ボール送り、富くじ等8種目で競います。

【地域文化伝承館(ねんりんピック高知2013)】  
 10月26日(土)～28日(月) 高知ちばさんセンター  
 地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能、老人クラブが取り組んでいる生きがいづくり活動などを  
 披露し、各世代間の交流を図るイベントです。

梶原町は10月26日(土)に「交通安全チンドン隊」、梶原高校ディスカバークラブによる「津  
 野山神楽」が参加します。

【第22回高幡地区老人芸能大会】 11月下旬ごろ 四万十町  
 高幡地区4市町(四万十町、中土佐町、津野町、梶原町)で歌謡・舞踊・寸劇等さまざ  
 まな芸能種目が披露されます。

お問い合わせ先：梶原町老人クラブ連合会 事務局高橋 (電話：65-1000)  
 または、お近くの老人クラブ会長・会員までご連絡ください。

# 梶原雲の上スポーツクラブ

「梶原雲の上スポーツクラブ」は、子どもから高齢者まで様々な人が、仲間と共にスポーツを楽しんでいます。

## ヨガサークル

(月3回)月曜日 19時～20時30分  
○未来館2階ホール  
・市内からインストラクターが教える来てくれています。

## 健康体操

(月4回)木曜日 18時30分～20時30分  
○未来館2階ホール  
・市内からインストラクターが教える来てくれています。

## バドミントンサークル

毎週火・木 19時30分～22時  
○旧梶原小学校 体育館  
・和気あいあいと、バドミントンを楽しんでいます。

## ソフトボールサークル (小学生)

毎週月火・水金 17時～19時  
○梶原学園グラウンド

・経験者の方に指導していただいています。

## ソフトボールサークル (一般)

毎週火・木 19時～22時  
○梶原学園グラウンド



## フットサル体験教室開催

9月10日、大越体育館でフットサル体験教室を開催しました。当日は、1月に行った第1回目の体験教室を上回る、約50

人の参加者が集まりました。社会人で構成されているフットサルチーム「KAGURA」のみなさんに指導していただき、子どもから大人まで、思う存分フットサルを楽しみました。今後は、定期的に教室を実施していく予定です。



**【問い合わせ】**  
梶原雲の上  
スポーツクラブ事務局  
☎65-1350

# 10月の保健福祉支援センター行事予定

- 1日(火) 初瀬区・東区ころばん塾(保健福祉支援センター)
- 3日(木) 西区いきいきふれあい広場(上成)
- 6日(日) 雲の上のウォーキング
- 7日(月) げらげら家族会(認知症を介護する家族の会:総合福祉センター)
- 9日(水) 松原サテライトデイ
- 10日(木) 越知面デイサービス友の会  
越知面区ころばん塾②
- 11日(金) 愛育相談・四万川宅老所
- 15日(火) 初瀬区いきいきふれあい広場  
初瀬区ころばん塾(高齢者合宿施設はつせ)
- 16日(水) 人権相談
- 16日(水)～18日(金) 女性検診(マンモグラフィー検診・子宮頸がん検診)
- 21日(月) 東区いきいきふれあい広場  
東区ころばん塾
- 22日(火) あゆみの会
- 23日(水) 四万川いきいき交流会
- 24日(木) 西区ころばん塾
- 26日(土)、27日(日) ねんりんピックよさこい高知 2013  
ねんりんピック交流大会

※毎週水曜日…●予防接種日：不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン  
●陽だまり、育児サークル

※ゆすっ子相談センター相談日…1日(火)、8日(火)、15日(火)、21日(月)、29日(火)

# けんこうつふれあいコーナー つながるあせをえるあ

まずは、声をかけあうことから始めてみませんか！

日本では平成19年より9月10日から1週間を自殺予防週間として、それぞれ予防活動を行っています。高知県における、自殺者数は平成10年以降毎年200人を超えており、大変深刻な状況にあります。

今回は、自分や身近な人の様子が「いつもと違うな」と感じた時の対応等についてお話したいと思います。

## ●自分でできること(悩みやストレスを感じている本人)

①誰かに相談する  
悩みやストレスなど、辛い時には一人で抱え込まず誰かに相談しましょう。自分ひとりでは気づかなかつた問題点を見つたり解決のヒントをくれたりします。仕事で困った時に相談できることも仕事をするために欠かせない能力といえます。相談相手として家族や友人など身近な人に言いにくい場合は各種相談機関も利用できます。(表参照)

②日頃のコミュニケーションを大事にする  
ストレス要因になりやすい人間関係ですが、問題に直面した時に助けてくれるのも人とのつながりです。日頃から周りの人とのつながりを大切にしましょう。

③心のつながりを大切に  
家族や友人などのサポートはストレスを和らげます。支えてくれる人がいる、存在を認めてくれているという安心感だけでも、十分にサポートになるものです。仕事や家庭で問題が起こつたときは、利害関係のない交友関係が大切になります。友人に連絡をとる、趣味のサークルや教室、地域活動に参加するなど人との交流を広げていきましょう。

## ●身近な人ができること

心の病気は本人が気づかない場合が多いため、周囲の気づきが大切です。こころの不調はからだの不調や人間関係の悪化、

感情の不安定など態度にあらわれます。

### ①声をかけてみる

まずは、「どうしたの」と声をかけてみましょう。話を聞く時は、一方的に指摘せず、本人の言いたいこと、悩みを受け入れる傾聴の姿勢を持つことがポイントです。

※専門家に受診したからといって「からだが疲れているようだから」など受け入れやすい言い方で、内科などかかりつけの病院を勧めてみましょう。本人が拒む場合は家族や周囲の人だけでも専門機関に相談しましょう。

相談窓口	相談内容	電話番号	受付時間
高知のちの電話	●自殺予防のための相談	088-824-6300	9:00～21:00
高知県立消費生活センター	●消費生活全般の問題 ●借金の問題を解決するため弁護士や司法書士への面談予約など	088-824-0999	9:00～16:45
高知県精神保健福祉センター	●心のテレ相談	088-823-0600	月曜～金曜 13:00～15:00
働く人の悩みホットライン	●職場、暮らし、家族、将来設計など、働く上でのさまざまな悩みで、相談時間は一人1回30分以内	03-5772-2183	月曜～土曜 15:00～20:00

## 職場でのトラブルでお悩みの方は「総合労働相談コーナー」へ



### 【問い合わせ先】

- 高知労働局総合労働相談コーナー  
TEL 088(885)6027  
0120(783)722 (フリーダイヤル)
- 須崎総合労働相談コーナー(須崎労働基準監督署内)  
TEL 0889(42)1866

## 高知県労働委員会からのお知らせ

高知県労働委員会は、「労働相談」と「あっせん」で、労働条件や雇用をめぐる労使間トラブルの解決をお手伝いしています。いずれも簡易迅速・無料・秘密厳守で行われますので、気軽にお問い合わせください。

### 【お問い合わせ】

高知県労働委員会事務局

- 電話 088-821-4645
- 住所 高知市丸ノ内2-4-1 県庁北庁舎4階
- ホームページ <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/240101/>





# 第26回全国健康福祉祭こうち大会 ねんりんピックよさこい高知2013

平成25年10月26日[土]~29日[火]

●●●●長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流 ●●●●

## ねんりんピックよさこい高知2013開幕まであと少し！



9月7日(土)に、ねんりんピック開催まで『50日』となりました。

ねんりんピックよさこい高知2013は、10月26日~29日の4日間、県内18市町村・広域連合で開催されます。

梶原町は、10月27日(日)マラソン交流大会の会場地になっています。全国から約350名のランナーが参加し、3km、5km、10kmの3コースで競技が行われます。

大会当日には、選手に対するおもてなしコーナーや、来場者の皆様が参加していただける健康づくり教室など、マラソン以外にもいろいろなイベントを予定しております。皆様のご来場お待ちしております。

大会当日マラソンコース付近の車道は片側交互通行及び通行止めとなります。また、歩道につきましてもランナーが走りますので、注意して歩行お願いいたします。



# 貸し出し用セニアカーを 気軽に利用しましょう

貸出し用セニアカーは、65歳以上の方や障害のある方の移動手段として、町が昨年度から貸出し用として開始しています。

昨年の講習会に参加していない場合でも、職員が乗車方法の説明を行い試乗していただき、すぐに利用できます。是非、セニアカーをご利用下さい。

**貸出し場所**  
役場  
★こふじ美容室  
支援センター

**返却場所**  
役場  
★こふじ美容室  
支援センター  
まちの駅(マルシェゆすはら)

★貸出し・返却場所が増え、利用しやすくなりました。

# 貸出し料は無料です



【問い合わせ】保健福祉支援センター 担当…上田 電話…65-1170

## 火災の お詫びとお礼

8月10日、自宅付近での火災では消防の皆様をはじめとする大勢の方々にも多大なご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。出火の際には、迅速な消火活動をしていただき最小限の被害で鎮火できましたことを厚くお礼申し上げます。

また、皆様には温かい励ましのお言葉や過分なお見舞いを頂戴し、大変感謝しております。ありがとうございます。

本来、参上してお一人お一人に申し上げますべきところでございますが、紙面をお借りしましてお詫びとお礼に代えさせていただきます。

神在居 横山 全英  
家族一同

# 文 芸

## 杉の子俳句会

カタカナの新顔多し夏野菜  
 隣嫁おすそ分けよと切り西瓜  
 秋立ちぬやつと野山を歩く気に  
 コンテナを満載の船雲の峰  
 屋根橋の上をつるんで赤とんぼ  
 大旱四万十川が泣いている  
 蝉時雨リズムに合わせてウオーキング  
 ま白き歯こぼれるやうに日焼けの子  
 七夕や円熟の師とめぐりあい  
 星砂に埋まる足先夏の果  
 夏の水切り石に古いも来て  
 涼み台星と話して一人かな  
 空白のままの句帳や秋涼し

影浦 鉄心  
 吉村 招山  
 野中案山子  
 徳永 逸夫  
 山口 立野  
 下元 廣幸  
 氏原 陽子  
 西村 幸枝  
 西村 蓉子  
 内野 純子  
 久光 義恵  
 小崎みなと  
 久岡 智子

## 柚子の木俳句会

水打って山の緑を見渡せり  
 お茶番を忘れず告げよメモ用紙  
 朝ごとの菜園めぐり花おくら  
 虫の音や母のつげぐし髪を梳く  
 静まりて草木も揺れず炎天下  
 受験生母もつき合う夜食かな  
 風鈴に匠の枝や蜘蛛の糸  
 英単語夜食とともにのみ込みて  
 五平餅手に炎天の妻籠宿  
 炎昼の産室ひびかせ次女生れし  
 鯛のさざ波遠くまた近く  
 山の上に風と住む日々蝉涼し  
 癌告知耳の遠くで蝉しぐれ  
 竿高き峡の迎火風に鳴る  
 海底に零戦眠る盆の月

鎌倉 安弘  
 広瀬 宗子  
 広瀬 みえ  
 佐竹 重子  
 西森 誠子  
 中平 忠雄  
 中越 郁子  
 渡辺 瑞枝  
 西村由利子  
 宮崎真由子  
 中越 律子  
 瀬戸口登貴恵  
 西村 智子  
 千光寺昭子  
 岩元 芙美

## えぼし俳句会

若き日の話はずき星流る  
 ひとつづつ煩惱収め秋遍路  
 僧とともに説話読み上く法師蝉  
 蝉涼し予定の仕事終りけり  
 口ずさむ三坂馬子唄夏遍路  
 夕かなかなかすれるほどに鳴かずとも

古野 節子  
 下村 弘花  
 下元 澄子  
 ヒネ・バンビ  
 宇都宮由利子  
 岩井 章子

## 託老所「陽だまり」

賜りし余生に感謝の託老所  
 認知症予防と言って長電話  
 久々の雨に感謝の野菜食



## おめでたとかなしみ

### 出生

住 所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者氏名
川 井	中越 心瞳	女	H25. 8. 1	中越 洋佑
川西路	掛橋 寛三	男	H25. 8. 9	掛橋 一成
上 成	河野 穩空	女	H25. 8. 10	河野 広和
下 組	中岡 優里	女	H25. 8. 11	中岡 一大
東 町	森山 琴子	女	H25. 8. 20	森山 学

### 死亡

住 所	死亡者氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
大蔵谷	前田 恭子	女	H25. 8. 17	63	本人
文 丸	山本 豊	男	H25. 8. 28	82	本人
仲 洞	又川 波江	女	H25. 8. 28	83	又川 善一
川西路	中平 徳幸	男	H25. 8. 29	84	中平 幸広

## 寄付お礼

このほど、次の方々から寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

### 広報へのご寄付

間宮三喜男 様 神奈川県藤沢市  
 西村 寛良 様 高知市愛宕山  
 上田 徳吉 様 愛知県津島市

### その他のご寄付

神明 文男 様 東川  
 故・神明健一氏香典返しとして社会福祉へ  
 廣瀬 雄一 様 高知市  
 故・廣瀬一郎氏香典返しとして町勢発展へ  
 戸田 厚 様 中町  
 故・戸田民子氏香典返しとして社会福祉へ  
 中越 磯美 様 上西の川  
 故・中越義重氏香典返しとして社会福祉へ  
 濱田 晋 様 高知市  
 ふるさとづくり寄付金として

# 梶原こども園だより

## 保護者の一日保育者体験事業

「今日はみんなの先生」あなたも一日保育者体験をしませんか？ 一県幼保支援課の事業—  
就学前の子ども達が健やかに育つ環境づくりを応援します！

この事業を通して、保育・教育に関する保護者の理解が深まると共に、親の子育て力を高めることができます。親心を育むために…

### 7月に9名の保護者が参加してくれました。



子「アワアワはこうやって遊ぶが！  
わかった!? おかあさん！」



子「お父さんを狙っちゃえ！」  
親「男の子集団には参った参った(^^)」



親「みんなと食べると美味しいね。  
ホラ、食べてみて。」



お父さんの本読みにみんなが  
集中して聞き入っています。

- 8:30 登園 打ち合わせ  
自ら選んで行う活動  
学級・園全体で行う活動  
(乳児組はおむつ交換、おやつ)
- 11:20 (乳-10:50)給食準備  
配膳・試食・食事指導・片付け
- 12:30 (乳-12:00)午睡準備  
午睡 《担任と話し合い》
- 14:30 起床 着替え
- 15:00 おやつ  
絵本の読み聞かせ降園準備
- 16:00 降園  
普段の子どもの降園時間まで



### 一日の生活の流れ

#### ◎参加した保護者の感想

- ・家では泣き虫だけど、園でお友達と遊んだり、やらなければいけない事をしっかり出来ているのを見て安心しました。(子どもも友達と頑張っているんだね。)
- ・我が子が園でどのように過ごしているのかも見られて良かったです。遊んだりする中で、「それはダメ！」「それは自分でできるろ？」とかの判断が難しく、先生方の対応はさすがだなと思いながら過ごしました。貴重な体験ができ、親子のいい思い出になりました。
- ・いつもは子ども達と挨拶程度しか話したことがなかったのですが、皆と話をしたり遊んだり楽しい時間が過ごせました。可愛い子ども達ばかりでした。(繋がるっていいですね。ありがとう)

#### ◎お迎えした保育者・園の感想

- ・お家の人が入ってどうなるかと思ったけど、プールや食事に手助けしてもらい助かりました。
- ・普段あまり話すことができないお母さん・お父さんともじっくり話せたし、家での様子が分かり信頼関係も深まったと思う。
- ・保護者も一生懸命遊んでくれて、園でのいつもの自然な姿を見てもらえ、我が子だけでなく友達との様子も見てもらえるいい機会になった。

★家族の皆さん職場の皆さん事業所の皆さん、ご協力ありがとうございました。子どもは宝です。子育ての難しい時代ですが、親育ち・子育て支援のために今後ともご協力よろしくお願いたします。

### 編集後記

今年の夏は暑かった！  
ニュースでは、41度を観測した四万十市西土佐江川崎が大きく取り上げられていましたが、高知新聞によると、梶原でも7・8月の2カ月間に観測した猛暑日(最高気温35度以上)はなんと18日もありました。38・5度を観測した日もあり驚きましたね。  
その一方、他県のゲリラ豪雨や雷の被害をニュースで目にし、自然の猛威と、やはり、異常気象を思わざるを得ませんでした。  
9月1日は「防災の日」。梶原町でも防災訓練が行われました。みなさん、防災・避難対策はできていますか？  
私の家庭でも一応、非常袋を構えてはいるものの、恥ずかしながら用意してからしばらく中身の点検をしていません。誤報でしたが、8月の緊急地震速報が鳴ったときには本当に慌てました。とりあえずガスの元栓を閉め、非常袋は出したものの、次に何をしたらいいのかと右往左往するだけ…。子どもたちはテーブル下に避難していましたが(この動きは速かった)。新幹線も止まるなどしたため、迷惑に思った人もいたでしょうが、誤報で良かったと本当に思いました。  
災害はいつどこで起こるか分かりません。「備えあれば憂いなし」防災の日を機に今一度、ご家庭での「備え」を確認しておきましょう。  
広報編集委員会